

四三三七番

水鳥みづとりの 発たちの急いそぎに 父ちちは母はに 物ものは言はず来けにて  
今いまぞ悔くやしき

四三三八番

置たみけ薦め 牟む良ら自じが磯いその 離は磯なりその 母はを離はれて 行ゆ  
くが悲かなしさ

四三三九番

国くにめぐ巡る あとりかまけり 行ゆき巡めぐり 帰かひり来くまで  
に 齋いはひて待またね

四三四〇番

父とちは母はえ 齋いはひて待またね 筑つくし紫しなる 水み漬づく白しら玉たま  
取とりて来くまでに